

# 平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流鉄イベント事業			会計	款	項	目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課				
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民、来訪者	意図	流鉄流山線を観光資源とし、地域の活性化を目指す。
事業内容	流鉄流山線を観光資源として、地域の活性化を図るために「第3回流鉄BEER電車」イベントを実施することで、市民への周知や市内外からの来訪を促す。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度は、流鉄(株)、松戸市、流山市、両市の観光協会及び商工会議所、流山本町活性化協議会で構成する「流鉄開業100周年記念事業実行委員会」を設置し、流鉄(株)、松戸市、流山市で各2,000千円と千葉県から補助金6,000千円の計12,000千円を原資に各種記念事業を実施した。平成28年度からは、流鉄(株)500千円と本市500千円の計1,000千円で流鉄BEER電車を実施した。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	各種イベント入込数	21000	5500	12700	人	↑↑↑
②	流鉄各駅一日平均乗降客数	15264	15536	15686	人	↑↑↑	実績
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	イベントの来場者が近隣飲食店を利用し、流山本町地域に経済効果をもたらした。流鉄流山線の乗降客数の増加に繋がった。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成27年度の周年記念事業と、平成28年度からのイベントは、毎年更新しながら実施しており、入込数の増減がある。流鉄各駅一日平均乗降客数においては、逆に微増しているが、これはイベントに頼らなくても日常的に、流山本町への来訪者が増えていると考えられる。			
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,765,000	1,186,500	1,171,200			
事業費(b)(円)		2,000,000	500,000	500,000			
うち一般財源		2,000,000	500,000	500,000			
職員給与費(c)(円)		3,765,000	686,500	671,200			
人役・職員(人)		0.50	0.10	0.10			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	第3回流鉄BEER電車実施にあたり、広告収入と出店料による事業費確保	③取組の課題	・更なる自主財源の確保 ・流鉄沿線市（松戸市）との連携
②今年度(H29)に実施した取組	・走る流鉄でのプレミアムライブを増便、イベントチラシに広告掲載、ビール会社の協賛など、歳入確保に努めた。	④今後(H30以降)の改善計画	・更なる自主財源の確保（出店料の値上げ等） ・集客のための新たなコンテンツの検討（会場のバージョンアップ、演者、飲食出店者の再検討等）